

マチコエ市民参加によるインターネットラジオ等の SNS 発信活動

1 取組の目的・全体像

(1) 目的

マチコエ（三鷹市市民参加でまちづくり協議会）の「平和・国際交流グループ」では、外国籍市民等に対するアンケート結果に基づき、「必要な多言語情報が外国籍市民等に届く仕組みを早急に構築する」ことを市に提案した。本事業では、これをふまえて、外国籍市民も含め多くの市民への情報提供の取り組みの一環として、双方向性をもった情報伝達と情報ベースの創設を試みる。

(2) 実施内容

音声配信プラットフォーム（stand.fm）を活用して、外国籍市民等を招き、これら市民へのインタビューを通じ、その困りごとに対処し、また市政でこれら市民に直結する情報の提供及び、市民にとっての三鷹の魅力などを発信した。多言語コンテンツを用いて、毎月1回程度定期的に更新する形で配信を行った。

2 取組のポイント

- ・多くの人に配信を聴いてもらうため、広報用のステッカーを作成し広く配布して本事業を周知した
- ・外国籍市民等のリスナーは、情報にアクセスできる（いつでもそこにいけば情報が得られる）基点を確保することができた
- ・外国籍市民との対話を通じ、これら市民の目を通して感じる三鷹の魅力を再発見することができた
- ・外国籍市民の誰もがアクセスできる情報プラットフォームを構築することができた
- ・市の職員や審査員のご協力により、MISHOP（三鷹国際交流協会）や大学の学生からのインタビューが実現するなど、幅広い層に関わるすることができた
- ・計画していた予算と比べて低いコストで運営することができ、お金をかけずに持続することが可能な取組であることを実証できた
- ・計画していた予算を下回ったものの、想定通りの内容で取組を実施できた

3 取組の成果

以下の通り全4回にわたって外国籍市民へのインタビューを行い、収録・配信を行ったところ、337回の総再生数を記録するなど、多くの人にインタビュー内容を聴いてもらうことができた。

また、参加者からは「自分が話した内容を多くの人に聴いてもらえたら嬉しい」、「改めて三鷹のことを考えるきっかけになった」といった声をいただくなど、取組に携わってくれた人からはポジティブな反応が得られた。

【収録】

■第1回

2023年10月1日 15:00～16:00 @マチコエ施設
参加者2名（フランス国籍、韓国国籍）

■第2回

2023年11月12日 14:00～16:00 @マチコエ施設
参加者3名（中国国籍2名、ベトナム国籍）

■第3回

2024年1月27日 15:00～17:00 @三鷹市市民協働センター
参加者3名（ウクライナ国籍、メキシコ国籍、オーストラリア国籍）

■第4回

2024年2月4日 16:00～18:00 @三鷹市市民協働センター
参加者1名（カナダ国籍）

【総括】

- ・収録回数：4回 参加した外国籍の方：9名 ※近隣市民の参加含む
 - ・総配信数：24回 ※公開予定コンテンツも含む
 - ・総再生数：337回
 - ・いいね数：92件 ※stand.fm アプリ利用者のみ
 - ・ステッカー配布数：500枚
- ※総再生数、いいね数は令和6年2月25日時点

4 次年度以降の取組について

(1) 現状の課題

- ・認知拡大のための拡散不足
- ・少人数運営による稼働不足、体制の構築やコンテンツの工夫が必要
(例) 人員の拡充とスキルセット、稼働がかからないコンテンツ作成など
- ・市政／市民に直結するための情報の質的向上、企画のブラッシュアップ

(2) 今後の展望

- ・外国籍市民が生活情報を収集するためのプラットフォームとしてより成長させる
- ・外国籍市民に必要な情報は、インタビューにとらわれず情報提供を行う
- ・ラジオ収録をきっかけとした外国籍市民同士のコミュニティを創造、成熟させる
- ・収録から得られる外国籍市民の声を市政に反映するためのスキームを構築、市職員や関連機関との連携を強化する
- ・外国籍市民の生活に関心がある日本籍市民への認知拡大、事業ボランティアへの参加を促す

<取組の報告を受けた選考委員からの主な意見（助言等）>

- ・手軽に情報発信ができる環境があるので、協力関係が取れるネットワークを見つけながら、今後も継続するための手立てを検討するとよいのではないかと。
- ・大学生などと連携を図るなど、ラジオ放送に関わりたいと思っている人を広く募集することで、取組に賛同して協力してくれる人が増えると考えます。
- ・取組の内容を作り上げてからではなく、企画の段階から関わってくれる人を募集すると、より協力者を集めることができると考えます。